

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第2区分

【発行日】平成19年10月11日(2007.10.11)

【公開番号】特開2001-132879(P2001-132879A)

【公開日】平成13年5月18日(2001.5.18)

【出願番号】特願2000-290161(P2000-290161)

【国際特許分類】

F 16 L 27/12 (2006.01)

F 16 L 23/04 (2006.01)

【F I】

F 16 L 27/12 Z

F 16 L 23/04

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月29日(2007.8.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】互いに向かい合う関係に配置され、それぞれ内側へ向いたフランジを形成された装置部品の間に使用されて、該装置部品の間に液密流路を形成する収縮式スペーサ・パイプであって、

本体と、本体の両端部に配置されて本体をほぼ横断する方向に延在し、組合う装置部品のフランジと係合する形状に形成された一対のフランジ・シールとを有する可撓シール部材と、

それぞれの装置部品のフランジに押当ててフランジ・シールを圧縮するようにフランジ・シールの1つと係合する形状にそれぞれ形成された一対のフェルールであって、それぞれがフランジ・シールに係合するロッキング脚とウェッジ部分とを有し、両フェルールがシール部材上の所定位置に位置したときに両フェルールのウェッジ部分が互いに向かい合う関係となる一対のフェルールと、

両フェルールの間に配置され、緊締されたときにフェルールのウェッジ部分と係合して該フェルールを外側へ押圧し、フランジ・シールをそれぞれの装置部品のフランジに対して圧縮するためのテーパー付きクランプとを含んで成る収縮式スペーサ・パイプ。

【請求項2】フェルールのウェッジ部分がロッキング脚を横断する方向に延在する脚として形成された請求項1に記載の収縮式スペーサ・パイプ。

【請求項3】ロッキング脚が溝を形成され、またフランジ・シールが該溝と係合する円周突起を含む請求項1に記載の収縮式スペーサ・パイプ。

【請求項4】テーパー付きクランプがフェルールのウェッジ部分と係合する一対のプロッキング面を有する請求項1に記載の収縮式スペーサ・パイプ。

【請求項5】テーパー付きクランプのプロッキング面が所定の角度に形成され、フェルールのウェッジ部分がクランプ面の角度と補完的な角度に形成された請求項4に記載の収縮式スペーサ・パイプ。

【請求項6】互いに向かい合う関係に配置され、それぞれ内側へ向いたフランジを形成された装置部品の間に使用されて、該装置部品の間に液密流路を形成する収縮式スペーサ・パイプであって、

本体と、本体の両端部に配置されて本体をほぼ横断する方向に延在し、組合う装置部品のフランジと係合する形状に形成された一対のフランジ・シールとを有する可撓シール部

材と、

それぞれの装置部品のフランジに押当ててフランジ・シールを圧縮するようにフランジ・シールの1つと係合する形状にそれぞれ形成されてそれがウェッジ部分を有する一对のフェルールであって、両フェルールがシール部材上の所定位置に位置したときに両フェルールのウェッジ部分が互いに向かい合う関係となる一对のフェルールと、

両フェルールの間に配置され、両フェルールを外方へ押圧してフランジ・シールをそれぞれの装置部品のフランジに押当てて圧縮するような形状に形成されているクランプとを含んで成る収縮式スペーサ・パイプ。

【請求項7】 前記クランプがテーバー付きクランプである請求項6に記載の収縮式スペーサ・パイプ。